

当社の秋田営業所が販売している商品です。  
メーカーの相澤銘木様と共に営業活動しております。

# 通気耐力面材「アミパネル」開発

## 大手メーカーでも採用

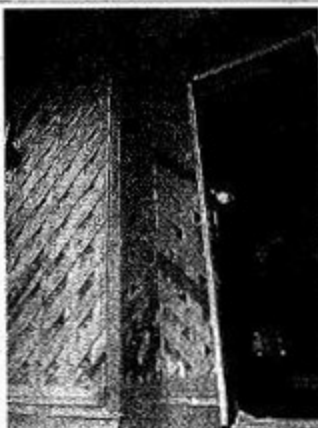
相澤銘木

造作、構造用集成材の製造を行う相澤銘木（秋田県能代市、相澤社長）は杉間伐材の有効利用の観点から、施工しやすい国産杉斜め格子組み通気耐力面材「アミパネル」を開発した。現在は、性能が評価され古河林業など大手住宅メーカーでも採用されている。

同製品は、杉の小幅板を3層で、1層目で45度、2層目を垂直、3層目を135度（1層目と逆方向）となる奥方向に重ね、交差部を水性高分子イソシアネートで接着、圧縮したものの、この構成により高い	強度と剛性がある面材となっており、耐力壁として利用できるほか、内・外壁の下部構	壁倍率4・0倍とそれぞれで、大臣認定を取
厚さ27mmで壁倍率4・6倍、長さ2700mm幅900mm厚さ27mmで	成材としても使用可能だ。サイズは、長さ2900mm幅900mm厚さ27mmで壁倍率4・6倍、長さ2700mm幅900mm厚さ27mmで	この壁は、2層目が
この構成により高い	気を通りやすく、湿気や浸入した雨水を格子の隙間から逃げ出し、壁体内部の結露を防ぐことができる。格子の	間隔を配線などにも利用することも可能。ほかに、構造上格子となっているため、手を掛けて持ちやすく、重くも軽く、風にあおられるにくい。そのため、作業性も良好。このため、狭小地における物件などでも施工に適している

間隔を配線などにも利用することも可能。ほかに、構造上格子となっているため、手を掛けて持ちやすく、重くも軽く、風にあおられるにくい。そのため、作業性も良好。このため、狭小地における物件などでも施工に適している

「開伐材などの有効利用を図るため開発された」と話す。今後の生産については、同製品が補助事業によって開発されてい



開伐材などの有効利用を図るため開発された

ることを踏まえ、より認知度を高めるために、他の企業と協力し

株式会社コバリン

総務部